

新市基本計画

市では、この基本計画に基づいた施策を実施することで、新市の一体性の確立、住民福祉の向上を図ります。

《美祢市の将来像》

自然と調和し、潤いと活力に
みちたやすらぎと交流の郷

太古のロマンに抱かれ、
夢をはぐくむまちづくり

新しいまちづくりの基本方針

- ① カルスト台地と豊かな自然に抱かれたゆとりと潤いのあるくらしをめざして
- ② 中山間地域の特性を活かした、活力ある地域をめざして
- ③ 効率的で開かれた行政をめざして

新しいまちづくりの基本方針

誰もが安心して住める、やすらぎのあるまちづくり
若者からお年寄りまですべての人が誇りをもって、住み続けることができる生活環境の実現をめざします。

ひとにやさしい、福祉の充実したまちづくり
保健・医療・福祉などの各分野が連携して、子どもや高齢者、障害者の人が安心して生活できる体制づくりを進めます。

人をはぐくむ歴史・文化・教育のまちづくり

振興も積極的に行うまちづくりを進めます。

交流ももてなしのまちづくり

新市の新たな基幹産業として期待される観光産業の振興を積極的に推進するとともに、もてなしの心による地域間交流を推進するまちづくりを進めます。

市民と行政の協働のまちづくり

市民と行政の役割と責任を明確化し、「協働」でまちづくりを行うシステムづくりを行うとともに、開かれた行政をめざします。

健全な財政と効率的な行政によるまちづくり

行財政の効率化ときめ細やかな行政サービスの実現を図るとともに、行政基盤の強化に取り組み、健全な財政と効率的な行政によるまちづくりをめざします。

地域別整備方針

西部地域

JR美祢線が通っており、美祢駅を中心にした一帯には、商業・鉱工業や都市機能が集積し、中心市街地を形成しています。また、中国縦貫自動車道の美祢西インターチェン

ジと美祢インターチェンジがあり、高速道路網での他地域との連携が容易に可能な地域です。

そのため、商業・工業の振興とそれに伴う就業の場の確保、若者をターゲットとした定住促進、中心市街地の商業機能などの活性化、インターチェンジ周辺の整備などを図り、都市機能の拠点として整備を行います。

中部地域

さらには、日本初のPFI方法による矯正施設である、美祢社会復帰促進センターの地域経済への大きな波及効果が期待され、この施設を活用した地域の振興を図ります。

貴重な観光資源であるカルスト台地周辺には、秋芳洞をはじめとした多くの観光拠点があり、これらは、現在の観光形態を体験型観光や滞在型観光へ転換していく重要な資源です。

そのため、この地域は、新市の観光を中心とした拠点整備のまちづくりをすすめる、観光資源間のネットワーク化（回遊化）や既存施設（秋吉台国際芸術村、秋吉台家族旅行村など）のより一層の利活

用を図っていきます。

また、農業の振興も併せて進め、農業と連携した特産品の開発やツーリズムの実現に取り組み、観光と農業の連携した地場産業の拠点とします。

東部地域

良好な農地が多く存在し、農業が盛んなことから、優良農地を活かした新たな特産品の開発や新市の農業を中心とした拠点整備のまちづくりを進めます。また、観光産業との連携を図り、新産業の創出も追及します。一方、県央地域に近いことなど恵まれた立地条件にあるため、住宅ニーズが高まることが予想され、定住促進のための計画的な開発の誘導など良好な居住環境の整備を行います。

地域高規格道路・小郡萩道路の整備が進み、（仮称）美東ジャンクションによる中国縦貫自動車道への接続および、（仮称）十文字インターチェンジを含め4つのインターチェンジ設置により、地域の振興に重要な幹線道路となることが期待されることから、企業誘致の推進など、道路整備に併せた秩序ある振興を図ります。

新「美祢市」 これまでの 市町村合併の推移

美祢市

平成20年3月21日合併

